

平成28年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日

施設状況

| | | | |
|------------|--|---------|-------------|
| 施設名称 | ふじみ野市立放課後児童クラブ(東地区) | 所管課 | 子育て支援課 |
| 指定管理者名 | 特定非営利活動法人ワーカーズコープ | 施設分類 | 子育て支援施設 |
| 指定期間 | 平成27年4月1日 ～ 平成31年3月31日 | 利用料金制導入 | なし(指定管理料のみ) |
| 導入年月日 | 平成23年4月1日 | 指定回数 | 2回 |
| 施設設置目的 | 小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により、昼間家庭にいないものにつき、家庭、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、当該児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、もって当該児童の健全な育成を図る。 | | |
| 施設概要 | 福岡放課後児童クラブ(定員70名、延床面積168.93㎡)、第2福岡放課後児童クラブ(定員26名、延床面積86.12㎡)、駒西放課後児童クラブ(定員70名、延床面積192.53㎡)、上野台・第2上野台放課後児童クラブ(定員120名、延床面積311.36㎡)、西放課後児童クラブ(定員70名、延床面積164.79㎡)、第2西放課後児童クラブ(定員70名、延床面積220.27㎡)、元福放課後児童クラブ(定員70名、延床面積152.37㎡)、さぎの森放課後児童クラブ(定員66名、延床面積149.05㎡) | | |
| 管理運営の基本方針 | 児童クラブ施設の管理について、児童福祉法及びふじみ野市立放課後児童クラブ条例の趣旨に則り、児童クラブ設置の目的を効果的に達成することを目的とし、住民サービスの向上と業務の効率化を目指す。 | | |
| 指定管理者の主な業務 | 放課後児童クラブの保育実施に関すること。 児童クラブの施設、設備等の維持管理に関すること。 | | |

【評価項目】

【評価基準】 5:目標値以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合/4:目標値以上の結果(5以外)/3:目標値に達している場合/2:目標値をやや下回る場合/1:目標値を大きく下回る場合

1 指定管理者の健全性

| | |
|---|----|
| 施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか また、団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか | 評価 |
| 特記事項 (問題等があった場合) | 3 |

2 施設の有効活用

| 施設利用状況 | 利用区分等 | 予定(計画・目標) 単位 | 利用実績 単位 | 対前年比 | 年度目標達成率 | 評価 |
|-----------|---|---|------------|------------------|---------|----|
| | 平均在籍児童数 | 501 人 | 496 人 | 106.0% | 99.0% | |
| (特記事項) | | | | | | |
| 事業実施内容 | 区分 | 協定内容・指定管理者提案 | | 追加事業、未実施事業及びその理由 | | |
| | 市指定事業 | <ul style="list-style-type: none"> 施設の運営に関すること 施設及び設備の維持管理に関すること 個人情報保護、守秘義務及び本業務に関する情報の公開に関すること 意見・要望への対応 運営改善の取組に関すること 児童の保育及び健全育成に関すること その他指定管理に関する業務 | | | | |
| 自主事業 | <ul style="list-style-type: none"> 長期休み(夏休み・冬休み・春休み)の一時保育 延長保育 昼のお弁当注文サービス | | | | | |
| サービス向上の取組 | 平成28年度は保育技術や地域交流、障がい児対応、危機管理、個人情報保護の観点から、内部18回、外部12回の研修を実施し、延べ303人の研修参加実績があった。これにより、サービスの総合的な向上を図っている。 | | | | | |

3 利用者評価

| 区分 | 内容 | 評価 |
|-----------------|--|----|
| 利用者の要望把握 | (1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート | |
| | (2) 調査、会議等の内容 【実施時期】平成28年12月15日～12月26日 【調査方法】利用保護者に対し、アンケートを実施。 【調査項目】①保護者への対応②子育てに関する相談対応③情報提供④支援員等と児童の関係⑤児童同士の関係⑥保護者同士の関係⑦保育内容⑧保育行事⑨遊具・施設⑩おやつ提供⑪利用時間⑫保護者懇談会実施方法⑬総合的印象 | |
| 利用者からの評価・要望・苦情等 | (3) 調査、会議等の結果 配布数・・・425世帯。回答数239世帯。回答率56.2%。 ・回答を「満足」「やや満足」「ふつう」「やや不満足」「不満足」の選択制で調査した結果、各項目とも「満足」～「ふつう」は87.0%以上であった。 ・①「支援員の保護者への対応はいかがですか？」と⑬「総合的印象はいかがでしたか？」の項目については、「満足」「やや満足」が①78.7%、⑬82.0%と他の項目と比較して高評価となっている。 | 4 |
| | (1) 良好とする評価 ・家ではなかなかできない遊び(編み物や長縄跳び)なども児童クラブででき、楽しんでいる。 ・キャンプや流しそうめんなど沢山行事があるのでありがたい。 ・アレルギー対応などもしっかりやっていたい。 ・小学校の遊具、校庭で遊べるので、とてもびのび楽しんでいる。 ・支援員の方も優しく、時には厳しく接して下さっているようで子どもメリハリがついていいと思う。 ・アウトホームな雰囲気が良い。 ・おたよりや連絡帳など、いつもわかりやすくお知らせをいただきありがたい。 (2) 苦情・改善等の要望事項 ・注文弁当の日を増やしていただけると助かる。 ・学校が休み(台風など)の時、預かりできないと不便。 ・壊れかけている遊具の修理が速い。 ・支援員数が少ないので、増員を希望。 ・おやつが多くて夕飯があまり進まない時がある、手作りおやつが少ない。 ・保護者懇談会の実施は土曜の午後や夜間にしていただきたい。 ・宿題をしてから遊ぶように促してほしい。 《対応措置》 ・注文弁当は需要の調査などを行い、ニーズに見合った対応を行っていく。 ・開室の拡大については、現支援員の人数等の兼ね合いで現状は実施することが難しいため、ご理解いただくよう努める。 ・遊具や室内の破損や故障などは、密に連絡を取り合い報告してもらい、早急に対応、修繕等していく。 ・支援員人員の確保の呼びかけに努め、処遇改善等を検討していく。 ・おやつや量や手作りおやつについては、分量の調整を行い、手作りおやつを増やせるよう促していく。 ・保護者会は、保護者アンケートを実施するなど、より多くの保護者が参加できるよう調整を図っていく。 ・放課後児童クラブでの過ごし方について、宿題をやる時間等も考慮して、メリハリをつけて過ごせるよう工夫していく。 | |

4 事業収支

| 事業収支 (単位:円) | 指定管理者収支(平成28年度) | | | | 市の収支 | | | | 評価 | | | | |
|----------------------------|-----------------|-------------|------------|-------------|--------------|-------------|---------------|----------|-------------|---|-----|---------|---|
| | 年度計画額 | | 収支実績額 | | 平成28年度決算 | | 平成27年度決算(前年度) | | | | | | |
| | 項目 | 金額 | 項目 | 金額 | 項目 | 金額 | 項目 | 金額 | | | | | |
| 収入 | 利用料金 | | 利用料金 | | 歳入 | 施設使用料 | 43,685,251 | 施設使用料 | 40,868,500 | 3 | | | |
| | 指定管理料 | 117,000,000 | 指定管理料 | 117,000,000 | | 行政財産使用料 | 1,708 | 行政財産使用料 | 1,708 | | | | |
| | 自主事業※ | | 自主事業※ | | | 国庫支出金 | 22,000,133 | 国庫支出金 | 20,682,000 | | | | |
| | その他収入 | | その他収入 | | | 県支出金 | 22,843,375 | 県支出金 | 22,238,000 | | | | |
| | | | | | | その他 | | その他 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | 計 | 117,000,000 | 計 | 117,000,000 | | 計 | 88,530,467 | 計 | 83,790,208 | | | | |
| | 支出 | 人件費 | 91,600,000 | 人件費 | | 93,529,017 | 歳出 | 修繕料 | 366,120 | | 修繕料 | 864,000 | 3 |
| | | 設備管理費 | 3,200,000 | 設備管理費 | | 3,443,856 | | 保険料 | 93,408 | | 保険料 | 86,923 | |
| 備品購入費 | | 2,800,000 | 備品購入費 | 2,568,333 | 指定管理料 | 117,000,000 | | 指定管理料 | 112,000,000 | | | | |
| 修繕費 | | 840,000 | 修繕費 | 518,681 | 業務委託料 | | | 業務委託料 | | | | | |
| 光熱水費 | | 2,900,000 | 光熱水費 | 2,718,748 | 土地・建物賃借料 | 567,120 | | 土地・建物賃借料 | 567,120 | | | | |
| 事業費 | | 900,000 | 事業費 | 868,750 | その他 | | | その他 | | | | | |
| 事務経費 | | 2,200,000 | 事務経費 | 1,937,938 | | | | | | | | | |
| 本社経費 | | 11,700,000 | 本社経費 | 10,325,234 | | | | | | | | | |
| その他 | | 860,000 | その他 | 1,089,443 | | | | | | | | | |
| 計 | | 117,000,000 | 計 | 117,000,000 | 計 | 117,567,120 | | 計 | 113,518,043 | | | | |
| 損益 | 0 | | 0 | 差引 | △ 29,036,653 | | △ 29,727,835 | | | | | | |
| ※自主事業は 該当箇所のみ 記載すること | 自主事業 | | 収入 | 2,285,780 | | | | | | | | | |
| | 支出 | | 支出 | 2,486,181 | | | | | | | | | |
| | 自主事業損益 | 0 | 自主事業損益 | △ 200,401 | | | | | | | | | |
| 人件費比率【人件費/指定管理者事業支出】 | | | | | | | | 79.9% | | | | | |
| 本社経費が、計画額と実績額で異なる理由 | | | | | | | | | | | | | |

5 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

| 区分 | 確認内容 | 適否欄 | 評価 |
|------------|--|-----|----|
| 職員配置 | 1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか | 適 | 3 |
| | 配置実績 運営及び事務を統括する統括責任者1人、労務管理及び経理事務等の担当者を1人以上配置。各施設に2人以上の常勤放課後児童クラブ支援員を配置し、1人を責任者となる所長とし、1人を所長の代理となる副所長とする。設備運営基準第10条3項各号に定める資格を有する者を各支援単位につき1人以上配置する。 | | |
| | 2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか | | |
| | 3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか | | |
| | 4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか | | |
| 平等利用 | 1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか | 適 | 3 |
| | 2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか | | |
| 経理 | 1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか | 適 | 3 |
| | 2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか | | |
| 施設・備品の維持管理 | 1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか | 適 | 3 |
| | 2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか | | |
| その他 | 1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか | 適 | 3 |
| | 2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか | | |

6 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

| 区分 | 確認内容 | 適否欄 | 評価 |
|----------|--|-----|----|
| 安全対策 | 1 危機管理マニュアルが整備されているか | 適 | 3 |
| | 2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか | | |
| | 3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか | | |
| 個人情報保護 | 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか | 適 | 3 |
| 防犯、防災対策 | 1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか | 適 | 3 |
| | 2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか | | |
| 緊急時対応、体制 | 1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか | 適 | 3 |
| | 2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか | | |

7 施設の設置目的の達成に関する取組

| 区分 | 具体的な取組の状況・実績 | 評価 |
|------------|--|----|
| 児童の生活習慣の確立 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童それぞれの個性を尊重し、集団生活の中での規律を守りながら、個々の発達を促している。 ・障がいのある児童についても、職員に研修の機会を与え、理解を促しながら生活習慣をどのように身につけさせることができるか、段階に応じて検討している。 | 4 |
| 地域・家庭との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・第2回「こどもフェス」では、参加人数が約500人と、多くの皆さんに参加いただいた。地域の方々にご協力いただき、親子で様々なイベントを楽しみ、交流を図ることができた。 ・お迎えの保護者と積極的に対話し、児童の様子など情報提供を図っている。また、仕事の都合などでなかなか放課後児童クラブとの関わりを持ってない保護者については、おたよりの情報発信や連絡帳でのやりとりを通して連携を図れるよう努めている。 ・児童の養育に問題を抱えている家庭については、市と連携するなど、児童の健全育成のため、個別の児童・家庭問題についても積極的に取り組んでいる。 | |
| | | |

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている/A:優れている/B:やや優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

| 評価項目 | | 評価 | 総合評価 | | 子育て支援施設 |
|--------------------|--|--|--|--|---------|
| 総合評価 | 指定管理者の健全性 | 3 | B | | |
| | 施設の有効活用 | 3 | | | |
| | 利用者評価 | 4 | | | |
| | 事業収支 | 3 | | | |
| | 管理運営全般 | 3 | | | |
| | 危機管理体制 | 3 | | | |
| | 施設の設置目的の達成 | 4 | | | |
| | 評価理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わり、児童との関係においても、良好であり、積極的に理解に努め、安定した運営である。 ・保育内容については、総合印象評価で82.0%の満足度評価を得ており、利用者からの支持も得られている。 ・事業収支については、概ね適正である。 ・管理運営業務については、書類等の発送、管理等も適切に行われている。 ・事故に対する対応は、概ね迅速に行われているが、まれに報告内容に不足点がある場合もあるため、次年度の改善点としていく。 ・その他、家庭の問題等についても、市に迅速に報告する等、児童虐待抑止の取り組みについても評価できる。 | | | |
| 取組・改善案等 (施設所管課) | 前年度からの課題・改善事項 | 実施状況 | 次年度へ向けての目標・取組・改善事項 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・事故発生時の連絡強化 ・保育時間、日程の拡張 | <ul style="list-style-type: none"> ・事故発生時に迅速かつ確に情報把握ができるよう、第1報様式を設け、市、事務局、現場すべてが情報共有を図っている。 ・昨年度においても課題となっていたが、現状支援員を増やすことが出来ず、拡張に至っていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による保育人員確保に協力し、処遇改善等を検討し現職職員の意欲向上と、新規職員採用に取り組む。 ・同事業の指定管理者が2団体いることは、お互いの良い点を取り入れ、また、改善点を共有することができるという側面があるため、情報交換を促したい。また、事故の発生状況分析・再発防止の検証についても情報交換を行い、より多くのケースについて検証を行う。 | | |

指定管理者自己評価

(1) 評価期間の取組に対する評価

① サービス向上に向けての取組

○ 学校、地域との連携として

- ・小学校区の防犯会議へ参加し、情報共有をしました。
- ・放課後子ども教室と合同で、遊びの企画をし、一緒に遊びました。
- ・学校の行事や授業参観に出席し、子どもたちの学校の様子を知ることが出来ました。

○ 地域の中で子育て支援施設の役割として

- ・地域の人材活用で折り紙教室、お琴教室、伝承遊び(こま・けん玉等)を行いました。

○ 保護者とのやりとりについて

- ・連絡帳でのやりとり、お迎え時の会話、保護者会等を行い、子どもの様子を伝え、またご自宅での様子を聞き、クラブ運営に活かしています。
- ・おやつメニューを玄関に掲示し、保護者の方にわかるようにしています。

○ 支援員対象の研修について

- ・支援員一人一人の危機意識向上のため、「危機管理研修」を行いました。
- ・食物アレルギーを持つ児童に対応できるように「食物アレルギー研修」を行いました。
- ・日々の保育について研修する機会として、クラブ間での交換研修のほか、西地区のクラブとの交換研修を行いました。

② 業務の効率化に対する取組

- ・職員間のミーティングを一日2回行い、支援員全員が情報共有できるようにしています。
- ・土曜日の保育は、同じ学校内のクラブは合同で行い、効率の良い運営を行っています。
- ・業務委託先の見直しを行い、経費の合理化をはかっています。

③ その他

- ・夏休みに各クラブでお弁当を作る日を設け、メニュー決めから買い物、調理、お弁当箱に詰めるまで子どもたちで行いました。お家の人の大変さも知る機会となっています。また、自主事業として、長期休み中は保護者の負担軽減のため、お弁当注文を導入し、多くの家庭に好評をいただいています。
- ・子ども会議を行い、生活のルールや行事の企画、運営のための話し合いから自主性を高める活動を行っています。
- ・子育て支援課としっかり協議をしながら、連携に努めています。
- ・「こどもフェス」を福岡中央公園にて開催し、「みんなでわいわいあそびな祭」と題して、地域の方とともに遊びを通して世代交流など豊かな心を育成しています。
- ・群馬県にある遊びの学校へ一泊のキャンプを行いました。飯ごう炊さんや自然体験等、児童、保護者、支援員が協同し、触れあいを通して、絆を深めています。
- ・全クラブの児童、保護者と一緒に夏は流しそうめん、秋は上野台小学校の体育館を借りて合同運動会を行いました。

(2) 管理業務実施上の課題

- ・老朽化した施設のトイレが男女共有のため、利用者の方から衛生面からもよくない等の指摘があり、改修の要望が出されている。
- ・今年度も登録児童の増加により、定員を超えるクラブがあります。事故等起きないように、ヒヤリ・ハットを出し合い、検証していきます。

(3) 次年度以降の取組

- ・今年度元福放課後児童クラブの近くの沼が大雨により氾濫し、避難を行いました。そのため、避難確保計画等の作成を行い、火災、地震、不審者への対応についての訓練のほか、浸水を想定しての訓練を実施します。
- ・毎年実施している合同運動会、流しそうめん、こどもフェス、キャンプは継続して行います。